

山形県の古木・名木 No.8

東根の大ケヤキ (ひがしねのおおけやき)

東根市本丸南一丁目1-1 市立東根小学校構内

東根市東根小学校の校庭にあり、この地は、東根城(小田島城)の本丸跡にあたる。

根回り約24m、1.2mの幹回り約16m、高さ約28mあり、地上5.5mの高さで大きく二またに分かれている。

樹齢は、一千五百年以上と言われ、全国随一のケヤキで、昭和32年に国指定特別天然記念物になっている。
〔山形県林業改良普及協会〕

(案内略図)



東根の大ケヤキ

この樹は、享和二年(一三三七)小田島貞徳が築いた東根城(小田島城)の本丸跡にあたる。
その實、「屋敷」「腰屋」と呼ばれた二家の女體であったが、明神十八年(一六四七)に焼けてしまった。樹齢は約五百七十年である。
山形県立歴史博物館蔵大ケヤキ実生(葉生)による複製
五〇〇年以上で、幹上、樹の幹は十六あり、さらに樹は五段である。幹は、地上五、五段の間に大きく二つに分かれ、両側のもが平面上して互に分枝樹となり三枝に分けて天を向かい、その高さは約八、八に達する。
東根市教育委員会蔵大ケヤキ実生(葉生)による複製
昭和三十三年(一九五八)四月十一日 国指定特別天然記念物
昭和六年 山形県 山形県立歴史博物館蔵
「グリーン山形」 〇区一帯
平成五年四月 山形県立歴史博物館蔵
「新」日本木 〇区一帯

【森林やまがた32号(1999年11月)記載】